

# 財団ニュース

昭和62年度第1号(通巻第22号)

昭和61・62年度来日・派遣援助一覧表 .....	1
事務報告 .....	5



**YAMADA SCIENCE FOUNDATION NEWS**

財団法人

**山田科学振興財団**

昭和61・62年度来日・派遣援助一覧表

短期間来日（62年度 11件）

コード 番号	申 込 者	来 日 者	目 的	実施年月
87 2010	東京大学 守 谷 亨	イギリス・ケンブリッジ 大学 Gilbert George Lonzarich	遍歴電子系（d及びf電子系）の電子 状態とスピンのゆらぎ	62 / 4
87 2012	分子科学研究所 北 川 禎 三	カナダ・Carleton大学 Johannes A. Koningstein	クロロフィル ダイマーのピコ秒共鳴 ラマンスペクトル	62 / 11
87 2017	生理学研究所 入 沢 宏	イギリス・オックスフ ード大学 Hilary Frances Brown	細胞内灌流法を用いて $i_{Si2}$ の存在を 明らかにし、さらに $i_{Si2}$ がNa-Ca exchange 電流かを明らかにする	62 / 5
87 2023	東京大学 大 澤 一 爽	フランス・CNRS 辻 繁	神経末端部のシナプス小胞内にあるコ リン作動性神経化学伝達物質を「イオ ン固定」により同定する	62 / 6
87 2025	東京大学 氷 上 忍	ソ連・ランダウ 理論物理学研究所 Anatoly I. Larkin	アンダーソン局在と量子多体問題	62 / 8
87 2026	東京大学 野 本 憲 一	西ドイツ・マックスプラ ンク天体物理学研究所 Wolfgang Hillebrandt	超新星爆発の機構と熱い中性子星の進 化、星の爆発過程における元素合成過 程および宇宙ガンマ線の起源の解明	62 / 8
87 2039	東京工業大学 星 元 紀	アメリカ・スタンフォ ード大学 David Epel	受精による卵の活性化 とくに細胞内 pH, $Ca^{++}$ の上昇機構	62 / 4
87 2040	大阪大学 藤 井 保 彦	アメリカ・エクソン科 学研究所 David E. Moncton	シンクロトロン放射X線散乱による物 性研究	62 / 10
87 2045	東京大学 山 崎 敏 光	アメリカ・ニューヨー ク州立大学 Tara Prasad Das	不純物の電子状態とミュオン超微細相 相互作用	62 / 5
87 2047	京都大学 柳 田 充 弘	アメリカ・Brandeis 大学 James E. Haber	染色体動原体の構造と機能：組換えと の関連	62 / 9
87 2048	京都大学 佐 藤 文 隆	ソ連・ランダウ 理論物理研究所 Vladimir A. Belinsky	重力ソリトン	62 / 4

短期間派遣（61年度 12件、62年度 14件）

コード番号	被派遣者	目的	渡航先	実施年月
86 4300	東京大学 大路 樹 生	Phylogeny and Evolutionary Biology of Echinoderms	イギリス	61 / 12
86 4307	京都大学 重定 南奈子	数理生態学国際シンポジウム	イタリア	61 / 12
86 4308	京都大学 本島 修	Invited Lecture on Heliotron E Experiment	ソ 連	61 / 12
86 4316	京都大学 九後 太 一	超対称弦に関する会議 他	アメリカ	61 / 12
86 4318	東京都立大学 広瀬 立 成	ZEUS 協同研究会議 他	西ドイツ	62 / 1
86 4324	東京大学 安藤 恒 也	第3回ブラジル学校「半導体物理」	ブラジル	62 / 2
86 4330	東京都立大学 石渡 良 志	International Congress of "Societas Internationalis Limnologiae"	ニュージーランド	62 / 2
86 4332	分子科学研究所 北川 禎 三	「生物と医学に重要な物質や系の分光学的および構造化学的研究」に関する第3回国際スクール	ポーランド	62 / 3
86 4341	山梨大学 宗久 知 男	第22回モリオン会議 他	フランス 他	62 / 3
86 4342	分子科学研究所 柏木 浩	サニベルシンポジウム 他	アメリカ	62 / 3
86 4343	東京大学 小嶋 稔	International Conference on Origin and Evolution of Planetary and Satellite Atmospheres	アメリカ	62 / 3
86 4344	山口大学 谷口 仁	スピントラッピングの反応の速度論	アメリカ	62 / 3
87 4004	名古屋大学 杉原 亮	1987年プラズマ理工学国際会議	ソ 連	62 / 4

コード番号	被派遣者	目的	渡航先	実施年月
87 4007	東京大学 小林 孝 嘉	第3回国際時間分解振動分光学会	オランダ	62/5
87 4014	京都工芸繊維大学 平山 鋭	クロロフィル及びポルフィリン化合物のミクロ環境と蛍光寿命 (in vino 測定) 他	オーストラリア	62/5
87 4016	京都大学 志村 令 郎	RNAプロセッシング会議	アメリカ	62/5
87 4018	岡山大学 香川 弘 昭	第6回国際線虫学会	アメリカ	62/5
87 4022	北海道大学 鴫田 昌 之	第31回国際純粋および応用化学連合 高分子シンポジウム	東ドイツ	62/6
87 4024	東京大学 池内 了	第3回天体物理学ワークショップ「遠方の原始銀河」	フランス	62/6
87 4027	東京大学 藤井 保 憲	宇宙における大域的構造発展に関する IAU第130回シンポジウム 他	ハンガリー 他	62/6
87 4029	滋賀医科大学 堀池 喜八郎	第9回フラビンおよびフラビン蛋白質に関する国際シンポジウム	アメリカ	62/6
87 4031	名古屋大学 斉藤 栄	少数体およびクォーク・ハドロン系の理論の国際会議	ソ 連	62/6
87 4039	京都大学 寺尾 武 彦	磁気共鳴に関するゴードン会議	アメリカ	62/6
87 4048	大阪大学 高橋 憲 明	核物理学第6回アドリア国際会議	ユーゴスラビア	62/6
87 4049	大阪市立大学 大津 隆 行	第31回 IUPAC 高分子シンポジウム 他	東ドイツ 他	62/6
87 4062	東京大学 兵頭 俊 夫	陽電子消滅による流体研究に関する国際シンポジウム	アメリカ	62/6

長期間派遣（62年度 8件）

コード番号	被派遣者	目的	渡航先	期間
87 5008	徳島大学 井上 勲	神経膜カリウムチャンネルの精製と機能の再構築	フランス	62/12～ 63/11 1カ年
87 5011	兵庫医科大学 塚本吉彦	網膜微小神経回路に関する形態学的研究	アメリカ	62/4～ 63/3 1カ年
87 5018	東京大学 橋高敦史	コリン類のアルキルコバルト錯体と比較してのゴルフン類のアルキルコバルト錯体の合成と化学	スイス	62/4～ 63/3 1カ年
87 5022	京都大学 伊吹紀男	Measurement of Absolute Oscillator Strength for Molecular Photoabsorption and Photoionization Processes	カナダ	62/6～ 63/5 1カ年
87 5033	東京大学 金子邦彦	自由度の高いカオス、乱流の特徴づけ	アメリカ	62/8～ 63/8 1カ年
87 5039	新潟大学 大矢 進	低温整列核を用いた核構造の研究	イギリス	62/4～ 63/3 1カ年
87 5050	関西学院大学 児玉美智子	熱的測定手段による生体細胞膜機能の解明	アメリカ	62/4～ 63/3 1カ年
87 5051	京都大学 浅見耕司	生物細胞膜の電気的性質	アメリカ	62/5～ 63/5 1カ年

事 務 報 告

---

事業日誌

- 61.10.13~17 山田コンファレンス XVI 開催（於 岡崎）
  - 10.20 第9回事業報告書（昭和60年度）完成発信
  - 10.31 選考打合会
  - 11.28 選考打合会
  - 11.30 昭和62年度来日・長期間派遣援助申込締切
  - 12.1 財団ニュース通巻第21号完成発信
  - 12.19 選考打合会
- 62.1.7 2月21日当財団「設立10周年記念感謝の夕べ」招待状発信
  - 1.30 選考打合会
  - 2.13 記念刊行物「山田科学振興財団の10年」完成520冊財団へ納品
  - 2.18 上記記念刊行物残部80冊及び記念刊行物英文紹介書完成80冊「記念感謝の夕べ」会場へ搬入
  - 2.21 第2回評議員会・理事会：昭和62年度研究援助選考計画、昭和61年度の援助事業報告、次期理事長・専務理事、役員、評議員、選考委員及び顧問の選出並びに決定、62年度事業計画、予算及び事業活動予定の決定、研究交歓会の決定、63年度山田コンファレンス候補を報告、63年度推薦学会決定  
当財団「設立10周年記念感謝の夕べ」開催、参会者に記念刊行物「山田科学振興財団の10年」及び英文紹介書を贈呈
  - 2.23 「記念感謝の夕べ」に関する礼状及び記念刊行物各方面発送開始、英文紹介書記念刊行分残部 220 冊及び小冊子 1,000 冊財団へ納品
  - 2.27 選考打合会
  - 3.2 昭和62年度研究援助個人推薦依頼状発信
  - 3.27 選考打合会
  - 3.30 昭和63年度来日・派遣申込要領及び申込書発信
  - 3.31 昭和61年度決算実施、昭和62年度研究援助学会推薦締切
  - 4.1 改選に伴い昭和62年度役員・評議員・選考委員等の就任（後記）、事務局辞令交付

昭和61年度諸援助のまとめ

援 助 名		実施件数	援助金(万円)	摘 要		
				募集開始 (推薦) 年月	切 年月日	
来日	長期	0	0	60.4	60.11.末	} 年1回募集
	短期	19	1,521	60.4	60.11.末	
派遣	長期	1	40	60.4	60.11.末	
	短期	102	2,511	61.4	61年度末	
集 会		6	490	60.4	60.9.末	
一般研究援助		18	9,790	60.9	61.3.末	
MBE研究援助		1	500			
山田コンファレンス		3	2,954	「重力崩壊と一般相対論」 「一次元導体の物理と化学」 「フィトクロムと植物の光形態形成」		
研究交歓会等		3	411			
計		153	18,217			

昭和62年度 事業活動予定表

年 月 日	行 事		
62年 5月 11日(月) ～ 13日(水)	山田コンファレンスXVII・チトクロームP-450研究の新展開 於 奈良ホテル		
5月 23日(土)	9:30AM } 夕方	第9回研究交歓会 18演題	
5月 24日(日)	10:00AM } 4:00PM	第1回 評議員会 理 事 会  第1回選考委員会	昭和61年度事業報告、決算報告、本 年度事業活動予定表 選考方針等審議 選考方針打合せ、62年度研究援助審 判の割当
7月 11日(土)	10:00AM } 夕方	第2回選考委員会 臨 時 理 事 会	62年度研究援助決定
7月 18日(土)	第8回長期間派遣者研究交歓会		
8月 31日(月) ～ 9月 3日(木)	山田コンファレンスXVIII・強い相関を持つフェルミ粒子系に おける超伝導 於 仙台市戦災復興記念館		
11月 9日(月) ～ 12日(木)	山田コンファレンスXIX・イオン溶液における構造形成 於 京都平安会館		
11月 30日(日)	短期間来日・長期間派遣締切 (63年4月～64年3月分)		
63年 2月 20日(土)	1:00PM } 4:00PM	第2回 評議員会 理 事 会	本年度事業のまとめ報告 明年度事業計画及び予算等審議
3月 31日(木)	学(協)会経由研究援助候補者推薦締切		
63年 4月 30日(土)	財団関係者各位による研究援助候補者推薦締切		
5月 下旬	第10回研究交歓会		

## 昭和62年度 役員・評議員・選考委員等の決定

### 役員 (昭和62・63年度)

理事長	永 宮 健 夫	大阪大学名誉教授
専務理事	小 川 俊太郎	財団専務理事
理 事	江 崎 玲於奈	米 I B M ワトソン研究所主任研究員
	神 谷 宣 郎	大阪大学・岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所名誉教授
	鈴 木 友 二	京都大学・大阪大学名誉教授
	関 集 三	大阪大学名誉教授・関西学院大学非常勤講師
	高 村 仁 一	京都大学名誉教授
	早 石 修	大阪医科大学学長
	福 井 謙 一	京都工芸繊維大学学長
	山 田 安 定	東京大学物性研究所教授
監 事	近 藤 次 郎	日本学術会議会長
	向 井 重 陽	株式会社三菱総合研究所取締役社長

### 評 議 員 (昭和62・63年度)

	井 口 洋 夫	岡崎国立共同研究機構分子科学研究所所長
	江 橋 節 郎	岡崎国立共同研究機構生理学研究所所長
	岡 田 善 雄	大阪大学細胞工学センター教授
	金 森 順次郎	大阪大学理学部教授
	神 谷 宣 郎	大阪大学・岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所名誉教授
	久 保 亮 五	慶応義塾大学理工学部客員教授
	熊 田 誠	京都大学名誉教授
	塩 川 二 朗	近畿大学理工学部教授
	芝 哲 夫	大阪大学理学部教授
	鈴 木 友 二	京都大学・大阪大学名誉教授
	関 集 三	大阪大学名誉教授・関西学院大学非常勤講師
	高 村 仁 一	京都大学名誉教授
	永 田 武	東京大学・国立極地研究所名誉教授
	永 宮 健 夫	大阪大学名誉教授
	西 原 宏	京都大学名誉教授
	早 石 修	大阪医科大学学長
	早 川 幸 男	名古屋大学名誉教授
	牧 二 郎	京都大学基礎物理学研究所教授
	山 田 安 定	東京大学物性研究所教授
	山 野 俊 雄	大阪大学名誉教授
	吉 田 正 夫	岡山大学理学部教授・理学部附属臨海実験所所長



顧問（昭和62・63年度）

赤堀 四郎 大阪大学名誉教授

選考委員（昭和62年度）

石川 辰夫	東京大学応用微生物研究所教授
泉 美治	大阪学院大学商学部教授
伊勢 典夫	京都大学工学部教授
江尻 宏泰	大阪大学理学部教授・附属原子核実験施設長
大沢 利昭	東京大学薬学部教授
櫛田 孝司	大阪大学理学部教授
朽津 耕三	東京大学理学部長・教授
菅 宏	大阪大学理学部教授・附属化学熱学実験施設長
関 集三	大阪大学名誉教授・関西学院大学非常勤講師
高田 利夫	生産開発科学研究所理事
竹内 郁夫	京都大学理学部・岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所教授
塚田 裕三	慶応義塾大学医学部教授
西塚 泰美	神戸大学医学部教授
長谷田 泰一郎	大阪大学名誉教授・桐蔭学園工業高等専門学校教授
増田 芳雄	大阪市立大学理学部教授
森田 正人	大阪大学理学部教授
山田 安定	東京大学物性研究所教授

今回の改選に際し、評議員で江崎玲於奈、岡村誠三、田代裕及び原富之の各先生が、顧問で吉識雅夫先生が、選考委員で岩間吉也、川村肇、坂井光夫及び藤田英一の各先生が、ご勇退され、現選考委員熊田誠先生が評議員にご交替になり、新たに、評議員に井口洋夫、岡田善雄、金森順次郎、永田武及び吉田正夫の各先生が、選考委員に伊勢典夫、江尻宏泰、櫛田孝司、菅宏及び塚田裕三の各先生がご就任なさいました。

このたびご勇退の諸先生方に対しまして、ご在任期間中のお力添えに心から御礼申し上げます。

第8回長期間派遣者研究交歓会開催

日 時 昭和62年7月18日(土) 13:00～17:00  
場 所 薬業年金会館(地下鉄谷町線谷町6丁目駅真上)  
研究成果発表者 昨年7月以降帰朝の長期間派遣援助者(3名予定)

研究援助推薦学会

63年度研究援助の推薦学会は従来どおり22学会をお願いすることになっております。

## 申込要領等改訂のお知らせ

この度、次記のように、来日、派遣の援助申込要領及び申込書を改訂しました。

援 助 名	募 集 開 始	締 切 日
来 日 (63年 4 月～64年 3 月分)	62 年 4 月 1 日	62 年 11 月 30 日
長 期 間 派 遣 (63年 4 月～64年 3 月分)	62 年 4 月 1 日	62 年 11 月 30 日
短 期 間 派 遣	出発月の 4 カ月前の15日が締切日 (例：62年10月出発の場合62年 6 月15日が締切日)	

## 追 記

研究援助について

研究援助候補推薦要領及び推薦書用紙は62年 9 月頃お届けします。

募集開始 62年 9 月 締切日 63 年 3 月 31 日

## 山田コンファレンスニュース

### 1. Yamada Conference XVI の開催

回	XVI
会 名	Phytochrome and Photomorphogenesis in Plants (フィトクロムと植物の光形態形成)
会 期	61. 10. 13～17
会 場	岡崎国立共同研究機構セミナーハウス
主催責任者	古 谷 雅 樹 (東京大学)
参 会 者	133名 (内、日本人70名、外国人63名)

2. Proceedings of Yamada Conference XIV, XV (財団版) の出版

書名	Proc. of Yamada Conference XIV on Gravitational Collapse and Relativity (重力崩壊と一般相対論)	Proc. of Yamada Conference XV on Physics and Chemistry of Quasi One-Dimensional Conductors (一次元導体の物理と化学)
頁数	512頁	592頁
出版時期	62年2月	62年2月
問い合わせ先	佐藤文隆(京都大学理学部 TEL 075-751-2111)	田中昭二(東京大学工学部 TEL 03-812-2111)
会期及び財団刊行物に於ける紹介	61. 4. 7~11 国立京都国際会館 成果報告は第10回事業報告書(本年10月頃刊行予定)に紹介予定	61. 5. 26~30 ホテルハイランドリゾート 成果報告は第10回事業報告書(同左)に紹介予定

3. 昭和62年度山田コンファレンス追加及び昭和63年度山田コンファレンスは次のとおりです。

年度	62年度追加	63年度
回	XX	XXI
会名	Neutrino Astrophysics from Big Bang to Supernovae (ビッグバンから超新星爆発にいたるニュートリノ宇宙物理学)	Molecular Physiology of Retinal Proteins (レチナール蛋白質の分子生理)
会期	63. 3. 28~4. 1	63. 5. 30~6. 3
会場	東京大学山上会館	比叡山国際観光ホテル
主催責任者	佐藤勝彦(東京大学理学部)	原富之(大阪大学理学部)

## MBE だより

当財団設立 5 周年記念事業のひとつとして、昭和57年11月 2 日、分子線結晶成長装置 (Molecular Beam Epitaxy : MBE) を関西学院へ寄贈、同学院では「MBE 共同利用施設」を開設し、編成された「MBE 共同利用運営委員会」の管理の下に、基本研究ならびに応用開発研究を公募し、推進致しました。当財団も設立 5 周年記念・5 カ年継続の援助事業として毎年度 500 万円ずつ計 2,500 万円の研究費援助を実施し、此の度62年 3 月をもって第 5 年度を終了し、当財団としての関連の援助事業を終了することとなりました。

その間、本装置の性能が極めて高いだけに、保守が難しく、共同利用中にも装置故障が発生、その修復並びに円滑な共同利用推進に尽力された委員会の方々、特に関西学院大学理学部の方々のご苦勞に心より感謝申し上げますと共に、今後装置の一層順調な稼働及び輝かしいご研究成果の樹立を祈ってやみません。

なお、関西学院大学理学部の現在の MBE 共同利用運営委員より次のとおりの計画を示されています。

1. 62年 4 月中に、従来の共同利用を終了し、今後別の形の共同利用を継続実施する。
2. 9 月11日(金)に、5 年間の MBE 共同利用の締めくくりに為るに学内外の利用者による成果報告会を、同大学に於て開催する予定。

上記事項についてのお問い合わせは、関西学院大学理学部 佐野直克氏 (TEL 0798-53-6111 内線5256) まで。

## 人 事 消 息

1. 61年11月 3 日、関 集三理事は、勲二等旭日重光章を、早川幸男評議員は、紫綬褒賞を受章されました。
2. 62年 4 月、塩川二郎評議員が、大阪大学工学部を定年ご退官になり、大阪大学名誉教授の称号をお受けになり、近畿大学理工学部教授にご就任になりました。

また、長谷田泰一郎選考委員が、茨城大学工学部を定年ご退官になり、桐蔭学園工業高等専門学校教授にご就任になりました。

## 編 集 後 記

此の通巻22号は、前号に続く所謂ニュースに替った第2号目であり、援助一覧表、事務報告を収載いたしました。

財団法人 山田科学振興財団

〒544 大阪市生野区巽西1丁目8番1号

電話大阪(06)757局3311(代表)

Yamada Science Foundation

8-1 Tatsumi Nishi 1-chome, Ikuno-ku

Osaka 544, Japan

1987. 6. 170